

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

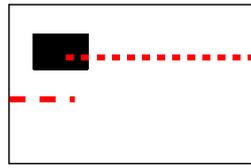
意見文にまとめるための構成メモをつくろう。

構成メモ

○ 題名

○○○○○とのかかわり方

○ 選んだメディアの持ちよう



「白い部分」 「黒い部分」

○ 自分が考えたこと（意見）

【7 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑦
本時のねらい

自分が選んだメディアや身の回りの情報について、図の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまるものを考えさせる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で本時の学習内容とめあてを確認する。

○ 本時は、あらかじめ選んでおいたメディアや情報の内容を、図に当てはめながら整理していくことを確認させる。

※ メディアや情報の種類については、テレビ番組やコマーシャル、新聞、雑誌、広告、インターネット等がありますが、その他のもので書きたい児童がいればそれも認めます。

※ まだ、決めていなかったり決められなかったりしている児童には、教師側でいくつか材料を用意しておきます。

2 構成メモに、メディアの内容を整理する。

○ 構成メモに、「題名」「選んだメディアの特徴」「『黒い部分』と『白い部分』に当てはまる内容」「自分が考えたこと（意見）」をメモさせます。

※ なかなかメモが書けない児童には、教師側で具体的なもの（広告チラシ、インターネットの画面など）を用意しておき、メモの書き方について説明します。

※ ワークシートに直接書くか、四時目で使用したように付箋を利用させるかは、学級の実態に応じて判断します。

※ 「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる内容は、できるだけ具体的に、たくさん書かせるようにします。

※ 「白い部分」は想像して書くことになるので、必要に応じてヒントを与えます。

ヒント
・ ちがう場所でも同じことが言えるか。
・ ちがう時間でも同じことが言えるか。
・ ちがう考えの人がさつ影すると、どのような場面になるのか。

※ 「黒い部分」と「白い部分」に児童の書いた内容がきちんと対応しているか、個別に指導します。

※ 早く終わった児童には、他のメディアでも思い付くことはないか投げ掛けます。

※ 早く終わった児童には、筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）を使える部分がないかを考えさせます。

※ 「自分が考えたこと（意見）」の欄には、そのメディアとの関わりについて考えたことを自分の言葉で書くように指示します。

評価 自分が選んだメディアや身の回りの情報について、「黒い部分」と「白い部分」の図に当てはめながら内容を整理している。
(読み)

3 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、構成メモを基に意見文にまとめていくことを伝える。